

166. 羊水細胞診による胎児成熟度の推定

(関西医大) 安田 迪之, ○大月恭範

羊水には胎児由来の細胞を含有しているので, 胎児に関する情報を得る手段として羊水の細胞診に対する関心は近來高まりつつある. 胎児の成熟度を知る必要性は種々の場合に起こるが, これを知る方法の一つとして羊水中に於ける胎児由来の細胞を対象とする細胞学的検索法は大いに興味あるところであり, もし方法として役立つならば日常臨床に於ける利用価値は少なくないものと考え本研究を行なった.

羊水穿刺により採取した羊水沈渣を塗抹し, パパニコウ染色及び 0.1%ニール・ブラウによる染色を行ない胎児由来の各種細胞の出現頻度と出生児の胎令及び体重とを比較検討した.

今日迄に得られた結果では胎児由来の細胞は妊娠20週頃より出現するが, 特に妊娠31週位より出現する脂肪細胞の出現頻度と妊娠月数ないし児体重との間に相関関係が認められた. すなわち, 脂肪細胞の出現頻度は妊娠38週以上及び 2,500 g 以上の成熟児では全例20%以上に認められた. 又, 羊膜細胞の出現頻度は脂肪細胞とは全く逆に妊娠38週以後及び 2,500 g 以上では殆んど出現しない.

以上羊水の細胞診は胎児成熟度の推定を可能ならしめると考えられるので報告する.

追加・質問 (横浜市立大) 岩崎 寛和

我々も演者らと略同様の成績を得ているが, 胎児の distress が強いような症例ではいかがでしたか私共は1例 yellow stained baby で distress の強い症例で帝切時採取した羊水中に脂肪体を認めえなかつた症例があるので追加します.

回答 (関西医大) 大月 恭範

現在我々の行なつた研究は正常妊娠に関してであるが, 妊娠中毒症その他妊娠に合併する疾患の存在する場合は今後研究するところであります.

* 167. 性染色質の変異像について

(神奈川県日本鋼管病院) 安武豊志男

羊水中剝離細胞による胎性検査に対比して, 腔スミアによる性染色質の出現率を追求した. Lyon 仮説にしたがつて女性体細胞に 100%の性染色質の出現を認められてよい訳であり, また男性体細胞に少数ながら性染色質の出現を認められるのはいかなる訳であるか, 従来の性別出現率についての異なりについて疑問をもち, 主として腔スミア診についてこれを羊水細胞診と比較を試みた.

1) 女性体細胞における性染色質の出現率は6~27%で平均12%であつた.

2) 羊水細胞診による男性体細胞の性染色質の出現率は0~5%, 平均1%であつた.

以上の検出率にもとづいて, 羊水中剝離細胞診による胎性検査を行ない, 100%の適中率を得ている,

3) 女性体細胞中にしばしば2個の性染色質の出現を認めることができる. これは男性体細胞にみる性染色質の出現と同じく, 正常域におけるX染色体の異常の在り方として考えてよいのではないか.

4) 2~3ヵ月胎児組織の押潰し標本により, きわめて簡単に鮮明な性別法を知ることができた.

5) 羊水中血液混入による検体の無駄を除き, また保存法などについて, 自らの新法を工夫した.

* 168. Turner 症候群と睾丸性女性化症候群

(千葉大) ○関 光倫, 新井 一夫

染色体分析の進歩とともに原発無月経には Turner 症候群や睾丸性女性化症候群などが含まれ, 排卵誘発の適応から除外さるべきである事が明らかにされて来た.

われわれは XO/XX Mosaic 1例, 睾丸性女性化症候群2例を経験したので報告する. 第1例は19才の未婚婦人で原発無月経を主訴として来院した. 婦人科的所見は恥毛殆んど正常, 外陰部女性型, 膣一指挿入不可, Sondeは6 cm入り, 内診にて子宮の位置に牽状物が触れるのみである. 1,280 g の未熟児で生まれ, 現在身長 144.5 cm, 胸囲, 腹囲, 腰囲ともに85 cmで西洋鑑状胸廓をなし, 他に外表奇形を認めない. 知能は正常である. 性染色質は4%, 性染色体構成は XO/XX Mosaic を示し, 尿中 Hormone は Hyper-FSH, Hyper-LH で Estrogenは少ない. 第2例は23才の結婚後間もない婦人で陰核の大なるを主訴として来院した. 乳房の發育は悪く, 手足は男性的に発達し, 陰毛ほぼ正常, 陰核小指頭大, 尿道口は正常の位置に位し, 膣の長さ7 cmでHegarの No. 15挿入可, No. 30迄伸展挿入可能である. 身長は 158 cm. 性染色質は0%, 性染色体構成はXYである. 尿中 Hormone は Normo-LH を示し, Estrogenは少なく, 17-KS が女性としては少々多い. 肥大せる陰核を切断, 面側鼠径部に潜在した睾丸を摘出し, 組織所見を検した結果極度に萎縮せる睾丸像を示した. 第3例は原発無月経を主訴として来院した19才の未婚婦人で乳房の發育悪く, 膣を欠く. 性染色質は10%, 性染色体構成はXYを示した.